

麻 酔 科

1. 臨床医学教育の現状と評価

(1) 臨床医学教育の目標

- 1) 医師として必要な患者の全身状態の把握と緊急事態に即応できる救急蘇生全身管理力
- 2) 麻酔科学の基礎各種病態での全身管理・疼痛管理の研修

(2) 医員、医員（研修医）の現状と研修実績

1) 初期研修医の現状について

a. 研修実績について（対象期間：平成9年度－12年度）

入局者数と本院での研修期間（月数：平均値）

年 度	9年度	10年度	11年度	12年度
入局者数	7人	4人	5人	1人
研修期間	0ヶ月	0ヶ月	0ヶ月	0ヶ月

b. ローテート方式研修の実績

平成9年度：0人

平成10年度：0人

平成11年度：1人、研修した他科名：放射線

平成12年度：5人、研修した他科名：循環器、胸部外科（県病）

2) 医員の受入れ状況（対象期間：平成9年度－12年度）

年 度	9年度	10年度	11年度	12年度
採用者数	0人	0人	0人	3人

(3) 指導体制について

- 1) 麻酔管理：麻酔指導医が手術部において指導
- 2) 集中治療：集中治療専門医がICUで指導
- 3) ペインクリニック：3人の専門医が研修中に4ヶ月間の疼痛管理を外来入院患者で指導

(4) 研修の評価について

各部門の指導者による評価

(5) 関連研修施設の現状

- 1) 大分県立病院 2) 公立八女総合病院 3) 国立大分病院
- 4) 県立延岡病院 5) 国立別府病院

(6) 臨床教授

なし

(7) 認定医・専門医・指導医の取得状況（平成9年度－12年度）

- 1) 日本麻酔科学会／指導医13名
- 2) 日本集中治療医学会／専門医4名
- 3) 日本ペインクリニック学会／認定医4名

(8) 学会認定施設の状況

- 1) 日本麻酔科学会麻酔指導病院認定
- 2) 日本集中治療医学会専門医研修施設
- 3) 日本ペインクリニック学会指定研修施設

※今後の課題と改善策

- ・教育関連病院での臨床教授養成
- ・日本救急医学会 評価医の養成

2. 臨床医学研究の現状と評価

(1) 臨床医学研究の目標

- 1) 侵襲と臓器障害の機序解明とその治療
- 2) 生体防御能のモジュレーション
- 3) 麻酔と生体機能
- 4) 疼痛の緩和

(2) 研究スタッフ

教授 1名、助教授 1名、講師 2名、助手 6名
 実験助手（非常勤職員を含む） 0名
 事務職員（非常勤職員を含む） 1名

(3) 研究領域と研究課題（対象期間：平成9年度－12年度）

主な研究課題名

- 1) 低体温の急性肺障害に及ぼす影響
- 2) 侵襲と臓器障害の機序解明とその治療
- 3) 生体防御能のモジュレーション
- 4) 疼痛の緩和

(4) 博士（医学）の学位の取得状況（平成9年度－12年度）

年 度	9年度	10年度	11年度	12年度
取得者数	0名	1名	0名	3名

(5) 学会、研究会活動（シンポジウム、特別講演、学会役職等）

学会役職（評議員、理事等）	（平成9年度－平成12年度）
日本麻酔科学会	野口 隆之（評議員） 岩坂日出男（評議員）
日本集中治療医学会	野口 隆之（評議員） 北野 敬明（評議員）
日本呼吸療法医学会	野口 隆之（評議員）
日本麻酔・薬理学会	野口 隆之（評議員）
日本蘇生学会	野口 隆之（評議員）
日本心臓血管麻酔学会	野口 隆之（理事）
日本ショック学会	野口 隆之（評議員）
日本生理学会	北野 敬明（評議員）
日本ペインクリニック学会	池辺 晴美（評議員）

(6) 研究論文 (英文、和文) (平成9年度-12年度)

- 1) Yoshitake S, Hoashi S, Noguchi T, Honda N; Changes in intramucosal pH and gut blood flow during whole body heating in porcine model, *Int J Hyperthermia*, 14, 285-291, 1998
- 2) Goto S, Noguchi T, Morotomi Y, Roger Lord, et al: A transient increase in endogenous erythropoietin levels after paediatric liver transplantation, *Transplantation Immunology*, 16, 265-267, 1998
- 3) Noguchi T, Kitano T, Ware F, Board J, Goto S, Lynch SV, Strong R: The Effects of circulating interleukin-8 and adhesion molecule on pulmonary dysfunction in pediatric orthotopic liver transplantation, *Surgery Today*, 29, 1011-1016, 1999
- 4) Mori M, Kudo H, Yoshitake S, Ito K, Shinguu C, Noguchi T: Transient EDTA-dependent pseudothrombocytopenia in a patient with sepsis, *Intensive Care Med*, 26, 218-220, 2000
- 5) Mori M, Yamamoto H, Hattori S, Miyakawa H, Noguchi T: Effects of ephedrine on auditory-evoked potentials during light general anesthesia, *Anesthesia*, 55, 523-527, 2000
- 6) Mizutani A, Okajima K, Uchiba M, Noguchi T: Activated protein C reduces ischemia/reperfusion-induced renal injury in rats by inhibiting leukocyte activation, *Blood*, 95, 3781-3787, 2000
- 7) Lehnig EJ, Jortner BS, Kitano T, LoPacine RM, et al: γ -Diketone Peripheral Neuropathy I. Quantitative morphometric analysis of axonal atrophy and swelling, *Toxicology and Applied Pharmacology*, 165, 127-140, 2000
- 8) Kitano T, Hattori S, Miyakawa H, Yoshitake S, Iwasaka H, Noguchi T: Unwashed shed blood reinfusion causes deterioration in right ventricular function after coronary artery surgery, *Anesthesia and Intensive Care*, 28, 642-645, 2000
- 9) Unosima M, Nishizono A, Takita-Sonoda Y, Iwasaka H, Noguchi T: Effects of zinc acetate on splenocyte of endotoxemic mice; enhanced immune response, reduced apoptosis, and increased expression of heat shock protein 70, *J LAB CLIN MED*, 137, 28-37, 2001
- 10) Iwasaka H, Kitano T, Miyakawa H, Unosima M, Shinguu C, Matsumoto S, Noguchi T: Neutrophilia and granulocyte colony-stimulating factor levels after cardiopulmonary bypass, *Canadian journal of anesthesia*, 48, 81-84, 2001

(7) 高度先進医療開発研究の現状

東レメディカルとの共同研究で「好中球除去カラム」の開発

※今後の課題と改善策

全国治験への参加を増やし、EBMの結果を出していきたい。

3. 診療の現状と評価

(1) 診療の目標

- 1) リスクマネジメントを徹底した麻酔管理
- 2) 重症患者、救命率の向上と術後臓器合併症の減少
- 3) 疼痛を主とする疾患の治療と緩和ケアの確立

(2) 診療実績 (平成9年度～12年度)

区 分	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
外 来 患 者 数	2,610人	2,910人	3,335人	3,939人
初 診 患 者 数	186人	201人	283人	247人
紹 介 患 者 数	54人	63人	75人	73人
入 院 患 者 数	1,607人	1,978人	2,137人	1,782人
平 均 在 院 日 数	17.9日	18.7日	17.5日	16.6日
平均病床稼働率	73.4%	90.3%	97.3%	81.4%
死 亡 退 院 率	0.0%	1.0%	2.5%	0.0%
剖 検 率	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

(3) 特殊検査・手術症例等

- 1) 胸腔鏡下交感神経節切除術
- 2) 疼痛除去用脊髄刺激装置植込術
- 3) 各種神経ブロック

(4) 特殊専門外来

- 1) 術前患者外来
- 2) 多汗症患者外来

(5) 高度先進医療・先端医療の導入

- 1) 硬膜外鏡によるFailed Back Surgery Syndromeに対する治療
- 2) 患者の慢性疼痛治療

※今後の課題と改善策

- ・緩和ケアの改善
- ・業務改善 麻酔、手術件数の増加と安全性の徹底

4. 国際交流について (平成9年度～12年度)

(1) 国際医療協力体制

該当なし

(2) 留学 (長期外国出張)

- 1) アルバート・アインシュタイン医科大学 (アメリカ合衆国)
平成8年7月～平成9年6月 1名
- 2) アルバート・アインシュタイン医科大学 (アメリカ合衆国)
平成10年6月～平成11年6月 1名
- 3) アルバート・アインシュタイン医科大学 (アメリカ合衆国)
平成11年6月～平成12年6月 1名
- 4) ピッツバーグ大学 (アメリカ合衆国)
平成12年8月～平成12年11月 1名

(3) 外国出張 (国際学会活動など)

- 1) 平成9年
The 7th World congress of Intensive & Critical Care Medicine 2人 カナダ
American Society of Anesthesiologist 1人 アメリカ合衆国
- 2) 平成10年

- 27th Society of Critical Care Medicine 1人 アメリカ合衆国
 10th Asian Australasian Congress of Anaesthesiologists 1人 台湾
 10th European Congress of Anaesthesiology 1人 ドイツ
 American Society of Anesthesiologist 2人 アメリカ合衆国
- 3) 平成11年
 28th Educational & Scientific Symposium 1人 アメリカ合衆国
 American Society for Artificial Internal Organs 1人 アメリカ合衆国
 9th World Congress on Pain 1人 オーストリア
 American Society of Anesthesiologist 5人 アメリカ合衆国
- 4) 平成12年
 Society of Critical Care Medicine 29th Education & Scientific Symposium 1人 アメリカ合衆国
 Third Congress of the European Federation of IASP chapters 1人 フランス
 American Society of Anesthesiologist 2人 アメリカ合衆国
 11th Congress Western Pacific Association of Critical Care Medicine 3人 シンガポール

(4) 外国人研究者の受け入れ状況

年 度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
目 的	研 究			
受入人数	1人			
出身国名	中 国			
滞在期間	5月~10月(半年)			
費用負担				

※今後の課題と改善策

- ・中国人留学生の受入推進

5. 国内学会や研究会の開催（平成9年度～12年度）

診療科で担当した地方学会・研究会、全国規模の学会・研究会

学 会 等 の 名 称	開催期日	参加人員	発表形式	その他
第7回日本集中治療医学会九州地方会	平成9年7月	300名	オーラル	
第19回九州疼痛学会	平成13年2月	200名	〃	

※今後の課題と改善策

該当なし

6. 地域との関わり

診療科で担当した大分県内の研修会、研究会について
なし

※今後の課題と改善策

- ・手術麻酔部間の業務改善による臨床例数の増加
該当なし

7. 診療科の特色

- (1) 周術期関連の合併症の予防と管理
- (2) 重症臓器障害患者の治療
- (3) ペインクリニック部間での非侵襲的治療

8. 将来展望

- (1) 集中治療、高度治療ユニットの病床増加で安全な周術期管理を行い患者サービスの向上を図る。
 - 1) 緩和ケアの推進
 - 2) 臨床研究を全国レベルのEBMとして行う